

こうのやま
神於山地区農空間保全協議会（岸和田市）

- 神於山地区は、H14年度には場整備事業が完了し、土地改良区を中心に、農地や水路、農道等の保全管理をすすめてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H19年度に神於山地区農空間保全協議会が設立され、自治会等、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られているとともに、NPO法人とも連携し、農村交流活動が行われている。

活動開始前の状況や課題

- H14年度には場整備が完了し、地元農家による営農が行われていたが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題
- 地区内の一部農業用施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題



取組内容

- 溝さらえや草刈りに加え、農道の路面補修や水路附帯施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- コスモス園を開設し、農村環境保全活動に取り組むとともに、地区内で遊休農地を活用した営農および都市農村交流に取り組む農事組合法人と連携し、交流活動を行っている。



【地区概要】

取組面積	55.75ha	[田9.25ha	畠46.50ha]
農業用施設	開水路2.9km 農道 9.9km	パイプライン15.3km ため池 5箇所	
主な構成員	自治会、水利組合、土地改良区、生き 活き農業応援団、農協		
交付金	1,207千円（農地維持） 1,113千円（資源向上）		

取組の効果

- 土地改良区が中心となってきめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
- 景観作物の植栽等による農村環境保全活動による地域住民との交流が図られているとともに、新規就農者等、若手農家の参入も進んでおり、農事組合法人、NPO法人等多様な担い手の参画により、交付金を活用した農空間の保全が期待できる。

